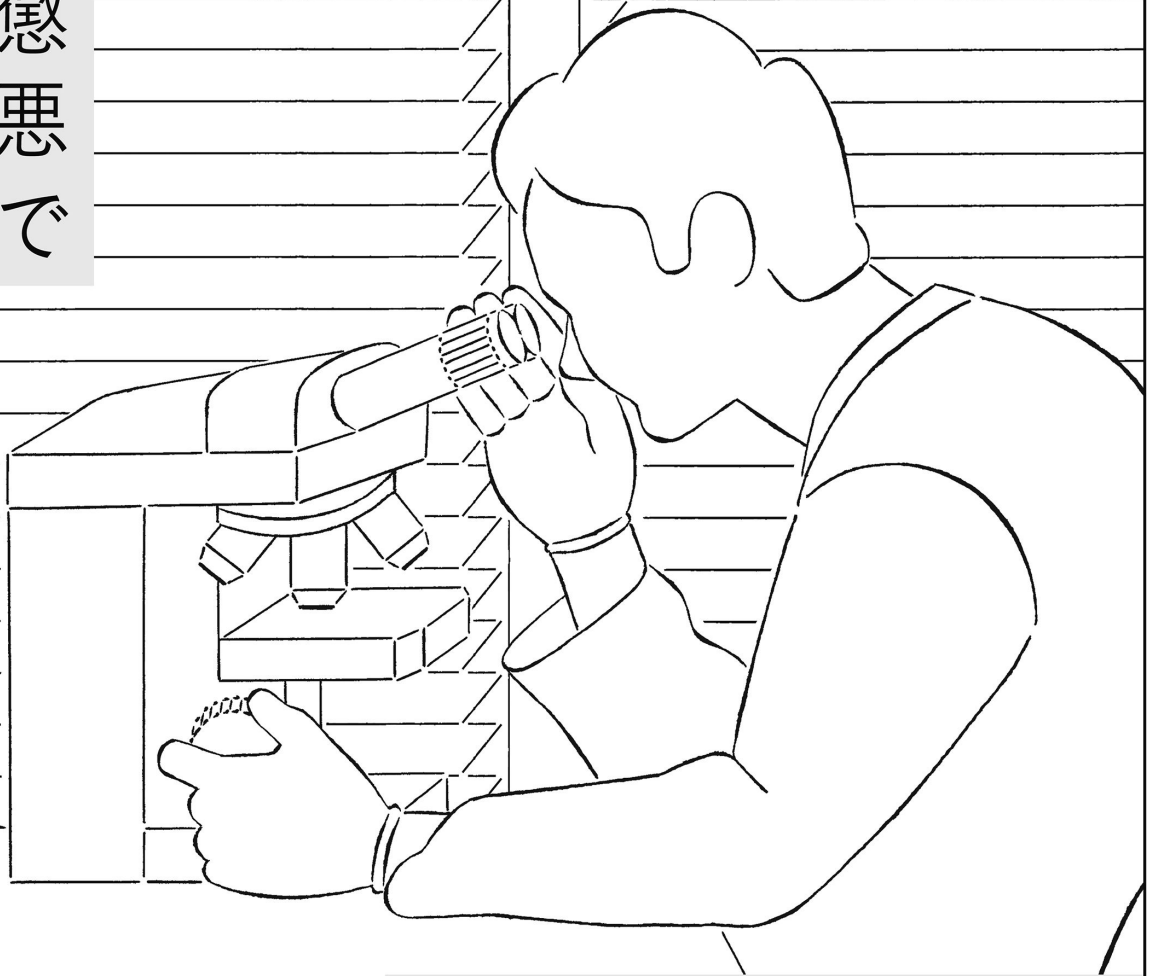


地球を 守る 勸善懲悪で



地球の健康を見つめる



環境大善

地球がいままで健康であってほしい。誰もがそう考えるように、環境大善も心から、そう考えています。私たちが暮らす地球は、温暖化、土壌汚染、水質汚染、大気汚染といったさまざまな環境問題を抱えています。今、環境大善にできることは、ひとつ。地球上の土、水、空気の中にある悪玉菌を減らし、それらを本来あるべき、善の状態に戻すこと。それは「善玉菌が働けるよりよい自然環境を整える」ということです。善玉菌と聞いて思い浮かべるのは、人の腸内に生息する乳酸菌やビフィズス菌のことかもしれませんが、環境大善では研究や開発を行う上で善玉菌という言葉で「地球環境を整えるためのよい働きをする微生物群の総称」と定義しています。「地球環境を整える菌たちが、その一例です。牛の尿を原料とし、善玉菌を利用し発酵・培養することで作った「善玉活性水」を使用することで、善玉菌が活性化しやすい周辺環境を整えられと考えているのです。人の健康維持に腸内細菌が役立つように、地球の健康維持に「善玉活性水」が貢献できると私たちは信じています。そしてこの「善玉活性水」から生まれた製品が無臭無臭の土壌改良材「液体たい肥 土いきかえる」や、臭いの悪玉菌にだけ反応して消臭する「消臭液 きえくさ」です。また、2020年7月に私たち環境大善は「土、水、空気研究所」を設立しました。ここでは「家畜し尿の微生物分解技術」の向上や「善玉活性水」のさまざまな分野への応用を目指した研究を行い、社会や人々の暮らしへと役立てていきます。さらに民間企業や地元の大学、研究機関との共同研究も積極的に、地域の活性化、持続可能な地域社会づくりにも貢献します。世界中で農作物の収量を増やしたり、地球規模で牛のし尿の循環型システムを実現させたり、微生物類を増やして空気を浄化したり。環境大善はさまざまな夢や目標を掲げ、これからも世界中の環境改善にも貢献できるよ、地球の健康を見つめながらさまざまな研究開発に取り組んでいます。悪玉菌を減らし、善玉菌を増やす。言わば、それは勸善懲悪の研究です。まるで正義の味方のようなのですが、もっと快適に、もっと安心して、人が健康な地球と生きていくために、それが環境大善の理想です。